

報道関係各位

2012年7月26日

賃貸住宅入居者の「思考動向」・「高齢化意識」の実態調査結果と 新しい地域活性策 & 入居者サービス = **Live-UP**

大東建託株式会社では、全国の賃貸住宅に居住する20代から70代までの男女を対象に、「普段、困っていること・不便・不満・心配・面倒なこと」、「お金を支払っても利用したいサービス」に関する調査を実施しました。その調査結果と、新しい入居者様サービスについてお知らせいたします。

■ 普段、困っていること／1位「買い物の際に重い商品を持って帰ること」 2位「食事の支度」

「普段の過ごし方」「買い物」「食事」「掃除や洗濯」「ゴミ出し」など、普段の生活面に関して、「困っていること・不便・不満・心配・面倒」の程度を聞いたところ、「非常にそう思う」・「そう思う」と回答した人の割合が1番多かったのは、「買い物の際に重い商品を持って帰ること（66.7%）」でした。次いで、「食事の支度が大変（49.9%）」「食事の片づけが大変（49.7%）」と食事に関する項目となりました。

■ お金を支払っても利用したいサービス／1位「鍵紛失時の開錠」 2位「水回りの掃除代行」

困っていることへの質問と同様に、普段の生活面に関して、「お金を支払っても利用したいサービス」を聞いたところ、「利用したい」と回答した人の割合が1番多かったのは「カギ紛失時の開錠（34.2%）」でした。次いで、「水回りの掃除代行（32.7%）」「重いものの自宅まで配達（29.1%）」「お部屋全体の掃除代行（27.5%）」「分別の日を気にせずゴミが出せる」など、掃除やゴミ出しなどの項目が上位となりました。

また、年代が若くなるほど、困っている項目が多く、これを解消する支援サービスへの要望度が高い結果となりました。これは増加する「ひとり住まい世帯」や「共働き世帯」が要望度を高めているものと思われます。

■ 高齢者は元気はつらつ、意欲満々！

自立心が高く意欲的な回答が多いのは高齢者であり、「パソコンを使いたい」「パソコンで注文したい」の要望が多く、自分で何とかしようとする姿勢や行動がうかがえます。その一方で、「重いものを持って帰るのが大変」や「買い物に出掛けるのが面倒くさい」と感じているのは若い世代のほうでした。

<この件に関するお問い合わせ>
大東建託株式会社・経営企画室
TEL (03)6718-9068

《次ページへ続く》

■ 若い年代ほど、地域や近隣との関わりを求めている

若い年代が、他の年代と比較して困っていることに「地域イベントへの参加方法がわからない」「入居者間のコミュニケーションの取り方がわからない」「ひとり暮らし会話の相手がいない」があがりました。

これは、携帯メール中心にコミュニケーションを行う若い世代は、地域・隣人との関わりを持ちたい欲求はあるものの、直接会話するなどのコミュニケーションが不得手で、どうしていいかわからない様子が見えられます。

➡ 【アンケート調査結果】

◆現在「困っていること・不便・不満・心配・面倒」なこと（全61項目）

ベスト 5

	全体 N=687	若年層 (39歳以下)	ミドル層 (40~59歳)	シニア層 (60歳以上)
1位 重い商品を持って帰るのが大変	66.7%	78.1%	58.9%	34.3%
2位 食事の支度が大変	49.9%	58.9%	37.1%	45.7%
3位 食事の後片づけが大変	49.7%	51.0%	36.1%	23.7%
4位 粗大ゴミを運ぶのが大変	47.7%	49.6%	49.3%	40.7%
5位 留守時に宅配便の受取ができない	47.2%	55.4%	49.3%	24.3%

※ **太字** : 50%を超える年代層

◆「お金を支払っても利用したいサービス」(全33項目)

ベスト 5

	全体 N=688	若年層 (39歳以下)	ミドル層 (40~59歳)	シニア層 (60歳以上)
1位 鍵紛失時の開錠	34.2%	38.2%	36.6%	20.9%
2位 水廻りの掃除代行サービス	32.7%	35.3%	34.6%	23.7%
3位 荷物のお店から自宅まで配達	29.1%	30.6%	30.2%	23.7%
4位 お部屋全体の掃除代行	27.5%	28.0%	30.2%	23.3%
5位 分別の日を気にせずゴミが出せる	26.2%	30.6%	23.9%	18.7%

※ **太字** : サービス毎で最も高い年代層

《次ページへ続く》

◆【その他 アンケート調査結果】

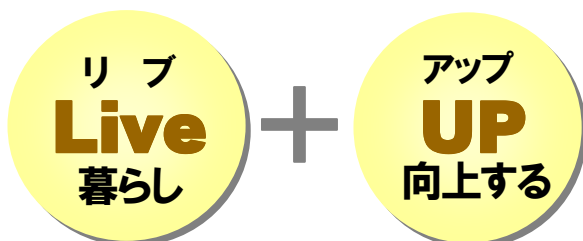
	全体 N=687	若年層 (39歳以下)	ミドル層 (40～59歳)	シニア層 (60歳以上)
〈困っていること・不便・不満・心配・面倒なこと〉				
● 地域のイベントへの参加方法がわからない	27.9%	<u>33.8%</u>	<u>25.9%</u>	16.4%
● 入居者間のコミュニケーションの取り方がわからない	20.3%	<u>25.7%</u>	<u>20.0%</u>	12.1%
● ひとり暮らしなので会話の相手がいない	20.3%	<u>22.7%</u>	17.1%	15.0%
● パソコンを使いたいが使い方がわからない	11.0%	9.9%	8.8%	<u>17.1%</u>

■調査概要■

- ✓ 対象 : 大東建物管理株式会社が管理受託している物件 及び
不動産仲介大手管理物件
- ✓ 対象者 : 全国の20歳から70歳代世帯主
- ✓ 調査方法 : 対象2,964世帯に郵送し、
返送いただいた有効回答者は687世帯

《次ページへ続く》

- **新しい地域活性化策& 入居者サービス**
= **Live-UP 暮らしサービスを開始しました。**



大東建託株式会社では、上記のアンケート調査結果を踏まえ、新しいコンセプト「Live-UP（リバップ）」のもと、地域の商店や地元企業の再生を含めた地域活性化と入居者様サービスを融合した「Live-UP暮らしサービス」を、6月から東京都江東区で開始いたしました。

「Live-UP暮らしサービス」は、ホテルのルームサービス以上のサービス／賃貸入居者様に、便利・お得・快適を提供／街づくり・地域コミュニティづくりのお手伝いの実施を目指します。

「Live-UP暮らしサービス」とは

“地域” “暮らし” に関わる様々な情報・サービスをご提供いたします。

1) ホテルのルームサービスのような機能を

- ① 24時間ご希望事項受付サービス
- ② 24時間緊急処理対応サービス
- ③ ルームサービスメニューによる、地元店舗からの出前サービス（夜間可能）
- ④ クリーニング引き取り&お届けサービス
- ⑤ 病院・避難場所などの情報提供サービス

2) 地域店舗との活性 “入居者様の便利・お得・快適” を

- ① 買い物・食事など、地元店舗とコラボレーションする割引特典
- ② 水廻りや室内清掃代行サービス

3) 地域紹介 “地域コミュニティ形成” を

- ① 地元趣味・サークルの特典付き利用
- ② 地域イベントご紹介

以上

<この件に関するお問い合わせ>
大東建託株式会社・経営企画室
TEL (03)6718-9068